

食品に関するリスクコミュニケーション ～健康食品に関する意見交換会～ アンケート等集計表

1 参加者

(1) 参加者数

71名 (アンケート回答：58名 回答率：82%)

(2) 性別

男 性	女 性	未回答
33	23	5

(3) 年齢層

～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代
0	5	10	11	17	10	5

(4) 所属

消費者*	生産者	製造・加工業	流通・販売業	報道関係者	行政関係者**	その他
16	1	7	1	1	27	5

*：消費者団体に所属する方を含む。
**：独立行政法人に所属する方を含む。

2 アンケート結果

Q1 本日参加された目的はなんですか。(複数回答)

食品の安全性の問題に関心があるため	37
テーマとなっている事項について関心があるため	40
講演を聞くため	21
パネリストや参加者の意見を聴くため	22
意見・要望を述べるため	0
その他	2
未記入	0

Q2 本日の意見交換会の開催をどのような方法で知りましたか。

厚生労働省のホームページ	5
その他の行政機関のホームページ、配布物	14
メールマガジン	5
新聞、雑誌等	7
所属団体からの連絡	21
その他	4
未記入	2

Q 3 演者からの説明についてお伺いします。

◆ 説明内容について、十分に理解することができましたか。

できた	14
おおむねできた	39
あまりできなかった	5
できなかった	0
未記入	0

◆ 十分に理解することができなかった理由は次のどれですか。（複数回答）

用語など内容が理解しにくい	2
説明資料が分かりにくい	2
説明が聞き取りにくい	4
自分が理解していることとは異なる説明である	0
その他	1
未記入	0

Q 4 パネルディスカッション・意見交換会についてお伺いします。

◆ パネルディスカッション等での議論の内容等について理解できましたか。

できた	14
おおむねできた	36
あまりできなかった	2
できなかった	1
未記入	5

◆ 十分に理解することができなかった理由は次のどれですか。（複数回答）

用語など内容が理解しにくい	1
発言が聞き取りにくい	1
その他	2
未記入	0

Q 5 本日の意見交換会についてお尋ねします。

◆ 全体の評価はいかがでしたか。

大変良かった	7
良かった	42
あまり良くなかった	4
全く良くなかった	1
未記入	4

◆ 良かったと思う点はどこですか。

- ・ 基本的な制度について理解ができた。
- ・ 消費者がどのように健康食品を思っているのか率直な意見が聞けて良かった。

- ・健康食品の問題等が整理できた。
- ・幅広い情報。
- ・健康食品についての認識を新たにしたこと。情報を引き出すホームページがあることを知り大いに利用したいと思ったこと。
- ・情報が分かりやすく発言の時に振り返ってよく理解できたと思います。
- ・健康食品についての再認識と情報を得る手段（ネット）のあることを知りました。広告の規制を厳しくやってほしい。
- ・説明が理解できた。
- ・説明は分かりやすかった。
- ・健食に係る制度内容は把握できた。
- ・会場の意見を取り入れながら意見交換ができている点。
- ・健康食品関係の制度について理解が深まった。健康食品の現状について認識が深まった。
- ・違った立場の人の意見交換ができていたのがよかった。
- ・基本的な事が色々と分かった。
- ・健康食品を製造しているメーカーとして消費者と企業の販促、役人とかがパネルディスカッションで話す場所に参加できて参考になった。「特保」に関する厚労省の考え方が良く理解できた。
- ・「特保」に関する厚労省の考え方が良く理解できた。
- ・消費者（一般の方）にもよく理解できたセミナーだと思います。
- ・講師の皆さんが内容をできるだけ分かりやすく説明しようとの努力が見られた。
- ・特保の曖昧さがもっと深く分かった。特保もっと厳しく飲用量等を明確にして取り締まるべき。
- ・特保のこと。
- ・ディスカッションは良かった。
- ・不明な点が少し理解できた。
- ・フロア側の人達が関心や知識のある方多かったので聞いていてとても良かった。
- ・盛りだくさん。
- ・それぞれの内容を知ることができた。健康食品という特別なものがあるのではなく、日々の食生活で食べているのが健康食品であると考えます。
- ・北海道では「トクホ」取得しているのはよつ葉さんだけと聞き、地産地消を提唱している立場から応援したいと思いました。マスコミの方がCMについてのお話をしていたが非常に良い意見だと思いました。
- ・厚労省と栄・健のつながりが今までより身近に感じられた。
- ・健康食品についての制度の現状、問題等が良く理解できた。
- ・分かりやすい。
- ・質問と回答によって理解が深まった。
- ・会場に意見を広く聞く場となっていた。

◆ 改善すべきと思う点はどこですか。

- ・もう少し具体的な話しが聞きたかった。また第三者認証についての話、理解しがたい。
- ・パネリストが多すぎて個々のご意見をお話してもらう時間がもっと欲しかったと思う。
- ・健康食品はほとんど効果をうたった無承認無許可医薬品であると思われる。その無承認無許可医薬品をこれからどうしていくのか？放置されているという印象が残った。第三者認証の仕組みが出来ればそれで解決されるのかが分からない。医薬品が薬事法を守っているという大前提で考えていることが実態とかけ離れているのではないか。
- ・パネルディスカッションの前段の説明が多かった。
- ・時間のしほりもあって各講師のお話のスピードが速すぎて聞き漏らす点がありました。もう少し焦点を絞った方が良くと思いました。
- ・小グループに分けてフリーディスカッションがあればもっと良かったかとも思います。時間も短く少し深く質問も出来なかった様に思います。

- ・パネルディスカッションの時間が短く出席者からの質問や意見を吸収しきれていなかった。出席者との意見交換をより多くできる様パネルディスカッションの時間を長くしてほしい。
- ・参加者からもっと質問がでるといいのかな？
- ・前段の説明が、行政側からばかりの4人が立て続けで話されており若干疲れてしまう。
- ・パネルディスカッションを長くしてほしい。パネラーの人はもう少し話しをして会場内の人に理解してほしいのではないと思う。
- ・もっとゆっくり聞きたい。
- ・パネルディスカッションが終わった後、一回ごと意見交換をして頂きたかったです。
- ・パネルディスカッション、答えになっていないパネラーの解答が多い。
- ・意見交換する論点（ポイント）を全体的に示した方が良いと思う。
- ・もう少し質疑の時間がほしい。
- ・もっとディスカッションに時間をとってほしかった。
- ・アメリカを中心となる先進国からの輸入健康食品の現状、問題点の紹介が必要。国際スタンダードの調整、輸入、規制などの現状、課題ほか。
- ・時間が短い。もっと参加者からの声にみみを傾けるべき。
- ・資料の中にとっても見づらいものがあるので見えるようにして提供してほしい。時間が限られているので説明者が早すぎてついていくのが大変だった。
- ・時間が少々足りない。
- ・特保や健康食品の活用の仕方を対象者それぞれの立場に応じてきちんと伝えていかなくてはいけないと思った。健康である人がわざわざ活用することはないので、その部分をしっかり伝えていくことが必要だと思う。健康に関心のある団体にはきちんとした情報をしっかり伝えて普及してもらうことが必要だと感じた。

Q 6 その他、今回の意見交換会について、お気づきの点がありましたら記入願います。

- ・時間が短すぎる。質問事項と講演終了後に記入できる時間があっても良いのでは？
- ・食品は全て健康食品であるべき。人体に害のない食品であるべき。高いサプリメントは考えて自分が不足の栄養素を考え学んでから自分の体に合うものを選びたい。コマーシャルにまどわされないようにしたい。今日は広い立場の方からお話ありがとうございました。
- ・基本的な内容だったので具体的な事例の紹介などがあったら良かったと思います。
「国へのお願い」厚生労働大臣官房参事官さんが見えですのでテーマから離れますが、行政栄養士の業務内容を見直し、国民の健康づくり（予防・改善）を適切に指導支援できる栄養士、保健師を採用することが必要だと思っています。現場経験者が非常に少なく知識の弱さに驚いています。国が基準を設けて欲しいです。医療地域と連携し住民の支援に対応できるシステム作りを進めて欲しいと思っています。医療に不信や不満をかかえた患者、市町村は相談できない住民などの健康教育キャンペーンなどに力を入れられる業務の指示をいただけたら働きやすく効果を上げられると考えます。時間がなく分かりづらい書き方ですみません。「健康づくりに力を入れられる環境整備」をしてほしいということです。
- ・それぞれのテーマでたくさんの講師が来ていましたが一人一人の持ち時間が短くもったいない気がした。特に梅垣講師の講義をもっとゆっくり聞きたいと思いました。
- ・本日はありがとうございました。梅垣先生のスライドP5の上を少し訂正した方がよいと思います。「国が認めている」ではなく「許可している」の方がいいと思います
栄養機能食品をサプリメントであるとしているが、コーンフレークやウエハースなどの食品の機能をとるものもあり、不適切だと思います。
- ・各分野の話がフロアから出てとても有意義でした。厚労省はじめ行政はもっとしっかりしなければと思いました。
- ・最初の意見交換会の時間を（もう少し30分程度）時間が欲しかった。
- ・個別の考え方については理解できるが、多くの健康食品に対する法の整備を明確にする必要性が急がれると思う。国民レベルの議論をしてほしい。特保商品に対する説明が多い。我々はそ

のレベル以下の企業であり特保には関心がない。特保の機能性・・・以外の健康食品作用、飲み合わせ等を公示可能にできる法整備を求めています。製造特許は海外だが成分特許を表示出来るシステム作りをしてほしい。政治的に超党派での新法提出に期待するしかない。

- ・食生活全体に係わるテーマですので、食育等、様々な場面で健康食品への理解が進むような取組も必要と思いました。
- ・説明等のマイクの調子が悪かったのが聞きにくかった。
- ・健康食品は今日話された以上に世の中に出回っていると思います。統計がでているかどうか分かりませんが市場としての「健康食品」はどのくらいあるのでしょうか？子供用のサプリメント？はじめての情報でびっくりしました。
教育熱もそうですが食べ物として考える上で大きな問題ですね。アメリカで起こっている事は必ず普及する点でもこれからもチェックが大切だと思います。
製造者の責任問題もそうですが、やはり消費者が賢くなる「良く知る」ということが一番だと思うので今日の発言の中でCMの審査をしている方もいるということで安心しました。
環境やゴミ問題からも「つながっている」ということが分かりました。「知る」、「知らせる」ということがやはり大切ですね。
- ・食品、食べものはすべて健康であるべきであると思う。第三者分かりにくい。もっと何回か聞きたい。
- ・会場内の人が自由に話していましたが、時間が足りなかったようです。時間設定を考えてほしい。またこのような会に参加したいです。勉強になりました。健康食品を使っている者にとっては違法のないメーカーが増えると良いです。目にあまる業者には厳しくしてほしいです。
- ・事業者、消費者双方の立場から見ていわゆる健康食品の「しぼり」をもっと自由にし、その代わり当事者責任の徹底を図ってほしい。せめてヨーロッパ並の改善を図ってはいかがでしょうか。
- ・話が一つ一つ長く脱線しがちである。自分らのやってることを主張したいのは分かるが、それぞれが言いたいことを言って満足しているような気持ち悪い場でした。何がしたいのか分からない。パネラーの方々がまとめてくれないと質問にしる答えにしる論点がボケてきて討論になっていない。パネラーの方々が一言でまとめてくれたら追加で聞くこともあると思いますが、聞きっぱなし、答えっぱなしで質問者の納得の有無が分からない。もっと少人数で行うべきだと思います。
- ・説明者が多いのでは？重複している内容も多くあった様に思う。説明内容に対して時間が少なく分かりにくかった。説明会の内容ごとにアンケートをとっても良いのではないかな。まとめたの評価なので解答しづらい。
- ・国側としては食に対する基本的優先順位を一般消費者に分かりやすい形でもっと積極的にPRすべきである。（すなわち「普通の食事を食材をまともに摂取することが大原則、最優先」という考えを）
- ・私たち行政はある程度の活用の仕方は理解できているが、それ以外の団体への理解がきちんとされていないように感じた。あと広告等に関する規則については今現在の実感では住民から何か紹介がない限り行政担当者が店頭なりインターネットを見て確認している状況ではないので、その辺の部分は考えてないと思うが、人員が少ない中、実行していくのは難しい。